

第9回 都道府県がん診療連携拠点病院

連絡協議会

情報提供・相談支援部会 報告

平成29年7月12日(水) 13:00～16:30

国立がん研究センター国際研究交流会館 3階

本日の報告内容

1. 「がん相談支援センターの相談対応体制と情報提供環境に関するアンケート」の中間報告ならびにそれに基づく今後の情報提供・相談支援部会の活動について

1) アンケート結果中間報告

(第3期がん対策推進基本計画について／情報提供環境について)

2) 今後の取りまとめ方法 (部会WGの設置と親会への提案)

2. がん相談支援センターの災害対策について

これまでの大規模災害におけるがん相談支援センターに関する情報収集と提供について

3. がん対策情報センターからのお知らせ等

1) 地域相談支援フォーラム開催報告・開催予定・企画募集と今後の方向性について

2) がん相談支援センターと地域の機関との連携について (図書館へのがん情報普及事業“がん情報ギフトプロジェクト”ほか)

本日の報告内容

1. 「がん相談支援センターの相談対応体制と情報提供環境に関するアンケート」の中間報告ならびにそれに基づく今後の情報提供・相談支援部会の活動について

1) アンケート結果中間報告

(第3期がん対策推進基本計画について／情報提供環境について)

2) 今後の取りまとめ方法 (部会WGの設置と親会への提案)

2. がん相談支援センターの災害対策について

これまでの大規模災害におけるがん相談支援センターに関する情報収集と提供について

3. がん対策情報センターからのお知らせ等

1) 地域相談支援フォーラム開催報告・開催予定・企画募集と今後の方向性について

2) がん相談支援センターと地域の機関との連携について (図書館へのがん情報普及事業“がん情報ギフトプロジェクト”ほか)

第3期がん対策推進基本計画案(案)(概要)

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防

- (1)がんの1次予防
- (2)がんの早期発見、がん検診
(2次予防)

2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん
(それぞれのがんの特性に応じた対策)
- (7)小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん
- (8)病理診断
- (9)がん登録
- (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

4. これを支える基盤の整備

- (1)がん研究
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 関係者等の連携協力の更なる強化 | 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化 |
| 2. 都道府県による計画の策定 | 6. 目標の達成状況の把握 |
| 3. がん患者を含めた国民の努力 | 7. 基本計画の見直し |
| 4. 患者団体等との協力 | |

第3期 がん対策推進基本計画案

赤字は、事務局追記

第2 分野別施策と個別目標

3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(2) 相談支援、情報提供

① 相談支援について（取り組むべき施策）（P52）

- 周知について
- がん相談支援センターの質の向上について
- 相談員の質の確保について
- ピア・サポートについて

② 情報提供について（取り組むべき施策）（P53）

- 不適切情報の監視・注意喚起について
- 障害者や日本語を母国語としない者へのアクセスの保障について

(4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題（サバイバーシップ支援）

① 就労支援について

- 就労支援について

② 就労以外の社会的な問題について

- 自殺防止について

■ そのほか、薬物療法(p27)、希少がん（P33）、就労(58-65)等でもがん相談支援センターへの言及あり

第3期 がん対策推進基本計画案

赤字・青字は、事務局追記

第2 分野別施策と個別目標

3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題（サバイバーシップ支援）

～就労支援について

① 就労支援について

(ア) 医療機関等における就労支援について

(取り組むべき施策) (p60)

- 国は、**拠点病院等において**、治療の早期から患者ががん相談支援センターを認識し、必要に応じて確実に支援を受けられるよう、拠点病院等におけるがん相談支援センターの位置づけ、主治医等の治療スタッフからの紹介の方法等、がん相談支援センターの利用を促す方策を検討し、必要に応じて、拠点病院等の整備指針に反映することを検討する。また、国は、社会保険労務士等の院外の就労支援に関する専門家との連携、相談の質の確保やその評価の方策を検討する。

～自殺防止について

② 就労以外の社会的な問題について

(取り組むべき施策) (p65)

- 国は、**拠点病院等における**がん患者の自殺の実態調査を行ったうえで、効果的な介入のあり方について検討する。また、**がん患者の自殺を防止するためには、がん相談支援センターを中心とした自殺防止のためのセーフティーネットが必要であり、専門的、精神心理的なケアにつなぐための体制の構築やその周知を行う。**

■ **そのほか、薬物療法(p27)、希少がん (P33)、就労(58-65)等でもがん相談支援センターへの言及あり**

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会 がん相談支援センターにおける情報支援の状況 および次期整備指針策定の提案に向けたアンケート結果 (中間集計)

【調査目的】

- がん相談支援センターで利用する情報に関する基準、収集、整備の現状ならびに第3期がん対策推進基本計画に関する意見を集約し、
 - 情報提供・相談支援部会として取り組むべき方向性について確認する。
 - 今後計画されている「がん診療体制のあり方の検討会」等の国の検討会等への提言案をまとめる。

【方法】

- 対象：全国のがん診療連携拠点病院等434施設
- 内容：がん相談支援センターの相談時の体制等の情報支援状況および第3期計画案への意見等について、14項目からなるWeb調査を実施 (Kyoten-CISC-MLによる呼びかけ)
- 調査期間：2017/6/5～7/7

【結果】

- 中間集計：6/26までに提出された216施設の回答
 - 回収率 都道府県拠点病院（中央機関を含む） 42施設（79.2%）
地域拠点病院、地域診療病院 174施設（45.7%）

アンケートの内容

- **がん相談支援センターの院内および院外周知の取組みについて**
- **専門性の高い相談内容、サバイバーシップ関連の相談対応体制について**
 - ・ 臨床試験などの先進的な医療、保険適用外の免疫療法、がん患者の妊よう性、家族性腫瘍、就労に関する相談
 - ・ 就労以外（経済的課題、アピアランス、生殖機能温存、がん治療の後遺症、性生活：セクシュアリティ）
- **がん相談支援センターの質の向上および対応の均てん化に向けた活動について**
 - ・ 勉強会・研修会等の活動について
 - ・ がん相談支援センターの相談対応環境の整備状況（診療ガイドラインの設置状況：活用できる状況になっているか）
- **第3期がん対策推進基本計画および整備指針等、意見集約の必要な内容について**
 - ・ 周知、がん相談支援センターの質の向上、相談員の質の確保
 - ・ 就労支援について
 - ・ 就労以外の社会的支援について（自殺防止）
 - ・ その他での記述（薬物療法、希少がんなど）

※ 資料4参照

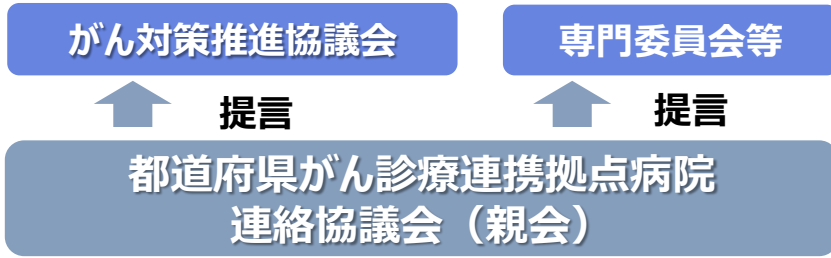
がん診療体制のあり方の検討会等の厚労省への提言案をまとめるための部会WGの設置と開催

■論点

- 「自殺対策」に関する留意点と検討事項の整理と提案
- がん相談支援センターの役割や求められる機能の拡大、質の担保も求められる現状を踏まえた具体的な提案
 - がん相談支援センターの機能強化
 - 常勤スタッフ、複数職種の配置
 - 院内での位置づけ
 - ……
 - 県レベルの活動が増える中での体制強化
 - 都道府県がん診療連携拠点病院の機能強化
 - 専門性に応じた体制と役割分担
 - ……などについて
- **WG（8,9月に2～3回開催）で、具体的な提案をまとめ、親会へ提出予定**

情報提供・相談支援部会からの提案の流れ

国
(厚生労働省)



- 可視化や成果を示すための
枠組みや体制づくりに対する
提言 など

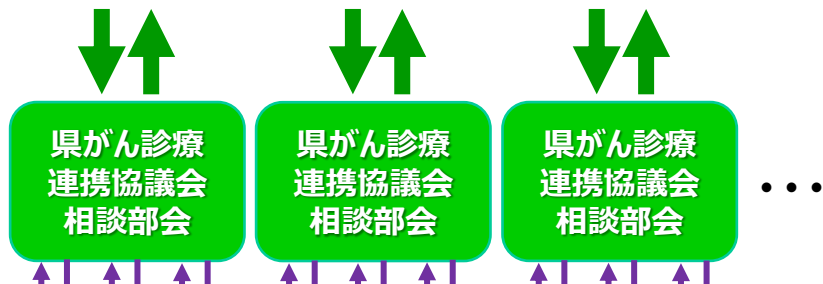
全国

全国



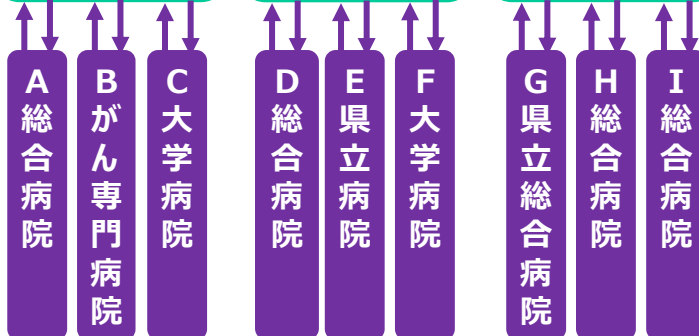
- 全国レベルでの
見える化/PDCAの確保
(全国での取り組みの改善に)
- 自分たち/社会に対して
がん相談支援の活動状況や成果を
示す

各都道府県



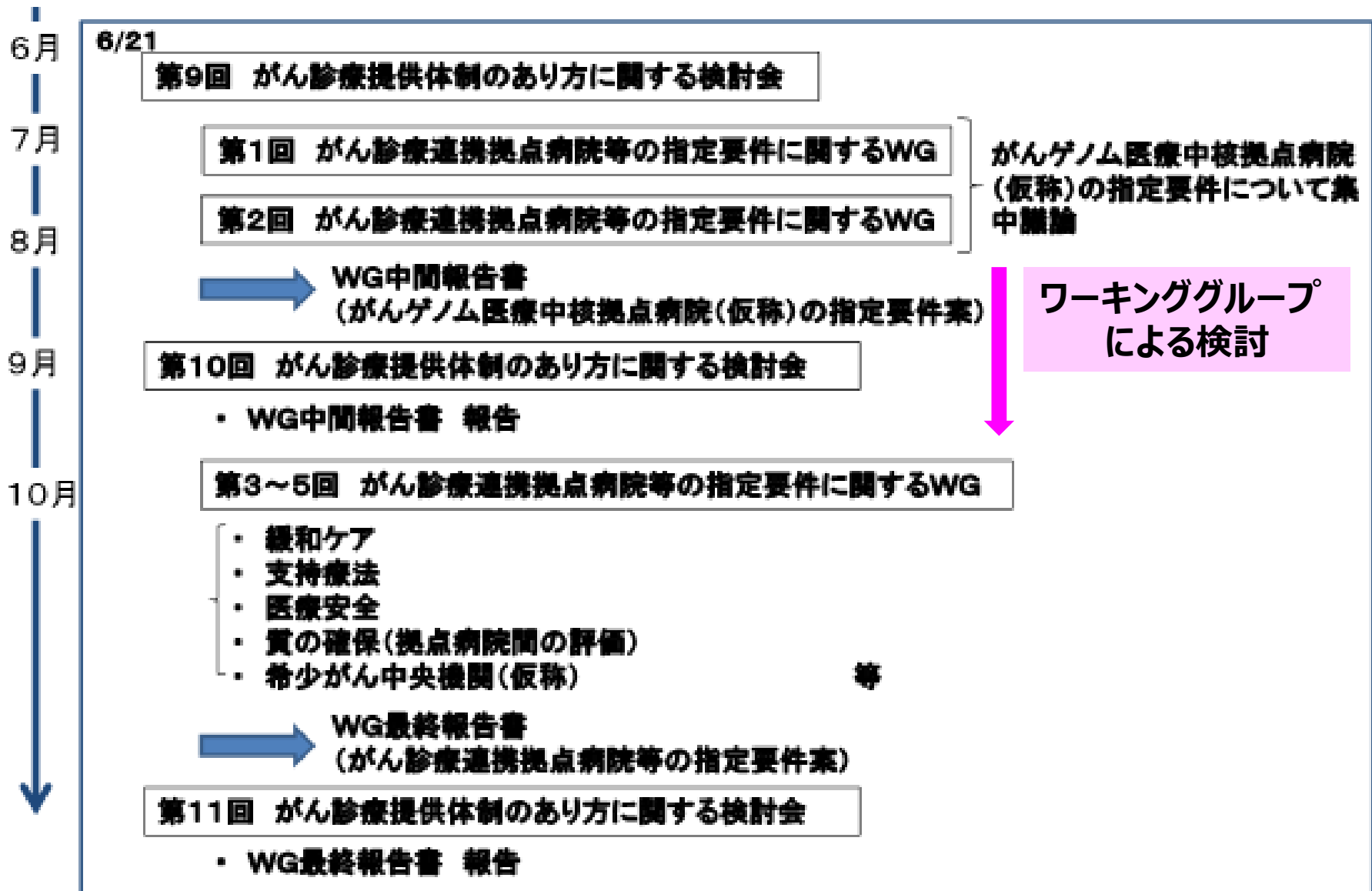
- 各都道府県内の
見える化/PDCAの確保
(県内での取り組みの改善に)

各施設



- 都道府県拠点病院内の
- 各地域拠点病院内の
見える化/PDCAの確保
(病院内での取り組みの改善に)

がん診療提供体制のあり方に関する検討会 スケジュール(案)



本日の報告内容

1. 「がん相談支援センターの相談対応体制と情報提供環境に関するアンケート」の中間報告ならびにそれに基づく今後の情報提供・相談支援部会の活動について

1) アンケート結果中間報告

(第3期がん対策推進基本計画について／情報提供環境について)

2) 今後の取りまとめ方法 (部会WGの設置と親会への提案)

2. **がん相談支援センターの災害対策について**

これまでの大規模災害におけるがん相談支援センターに関する情報収集と提供について

3. **がん対策情報センターからのお知らせ等**

1) 地域相談支援フォーラム開催報告・開催予定・企画募集と今後の方向性について

2) がん相談支援センターと地域の機関との連携について (図書館へのがん情報普及事業“がん情報ギフトプロジェクト”ほか)

災害時のがん関連情報の支援について

■ 第7回情報提供・相談支援部会にて出された意見

「震災の時には何が起きるのかわからない。中央からのきちんとした指示があると非常に助かる」
「首都圏直下型地震で、国立がん研究センターおよび周辺地域の施設・サーバーダウン時にはどうするのか？」

■ 首都圏以外での災害時

1. 情報支援の指示系統

- 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会長より

2. 情報の収集

- 情報収集用フォーマット（共有できるようにする）

3. 情報共有

- 全国版の連絡用として Kyoten-CISCメーリングリスト（がん相談支援センター実務担当者用）

■ 首都圏での災害時（検討中）

1. 情報支援の指示系統

- 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会長より

2. 情報の収集

- 情報収集用フォーマット（共有できるようにする）

3. 情報共有

- 全国版の連絡用として Kyoten-CISCメーリングリスト（がん相談支援センター実務担当者用）

4. データ保管/別サーバー確保

- 物理的に離れた地域1,2箇所確保？

■ 各施設での対応準備

1. 直通の電話番号の整備

- 直通電話が、がん相談支援センターにある
 - がん診療連携拠点病院
427施設中 225件 (52.7%) ²⁰¹⁵
434施設中 235件 (54.1%) ²⁰¹⁶
 - そのうち都道府県拠点
49施設中 41件 (83.7%) ²⁰¹⁵
51施設中 43件 (84.3%) ²⁰¹⁶

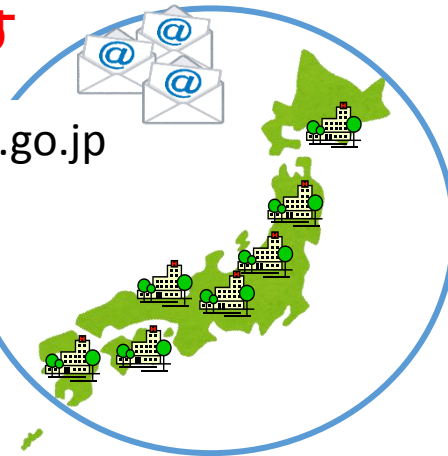
2. 情報収集・共有の過程のシミュレーション

- フォーマットの共有 Tel, FAX, email別に必要)
- 院内受け入れ状況の把握 ルート、病院長への確認ルートの確認

災害対策サーバの設置と将来的な運用

- 今後訓練させていただきます

kyoten-cisc@ml.res.ncc.go.jp



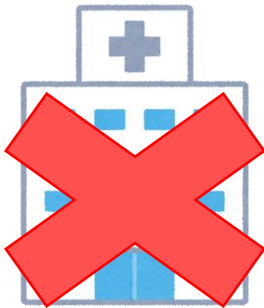
クラウド

がん情報サービス

メーリングリスト



災害発生
サーバダウン



国立がん研究センター
東京・築地

■ 災害情報・患者受入情報の共有など

Kyoten-CISCのMLを活用し、
九州がんセンターが中心となって

- 情報共有 (Kyoten-CISC@ML)
- 情報収集 (Kyoten-CISC@ML)
- 情報提供  Facebook がん情報サービス

このような案内がでます

災害発生のため臨時で表示しているページです。

A screenshot of the website ganjoho.jp. The header includes the text '国立がん研究センター がん情報サービス ganjoho.jp 一般の方向けサイト'. The main content area features a banner with a tree and the text 'がん情報サービスは 国立がん研究センター が運営しています。'. Below the banner are several navigation buttons: 'それぞれの がんの解説', '診断・治療', '生活・療養', '予防・検診', '資料室', and 'がんの相談'. There is also a 'おすすめページ' section with links like 'もしも、がんと 言われたら', 'ご家族、 まわりの方へ', 'がん情報サービス サポートセンター', 'がんの 臨床試験を探す', '地域のがん情報', and '音声・点訳資料'. The right sidebar contains sections for '医療関係者向けサイトへ', 'がん登録・統計', '病院を探す', '患者必携', and '小児がん情報サービス'.

首都圏の災害発生時：

国立がん研究センターのサーバダウン時の「ganjoho」関連の利用可能状況

内容	利用可能状況
ML：がん相談支援センター連絡・情報共有用のメーリングリスト Kyoten-CISC@ml.res.ncc.go.jp	使えます ・拠点病院・相談支援センターの連絡先リストは、〇〇（ganjoho.jp内）に置いています。
がん情報サービス 一般の方向けサイト	・前日までのup date分まで閲覧可 <u>使えない機能</u> ・病院を探す
がん情報サービス 医療関係者向けサイト	<u>使えない機能</u> 【研修・セミナー】 ・教育研修管理システム （研修登録・受講等） 【診療支援】 コンサルティング ・病理診断コンサルテーション・サービス ・画像診断コンサルテーション・サービス 情報データベース ・がん診療画像レファレンスデータベース

災害時対応に関して 全国のがん診療連携拠点病院 がん相談支援センターのみなさま方へ お願い

1. 直通電話の整備
 2. 災害時等の院内の対応、受入状況の把握ルート、
上長への確認ルートの確認
 3. がん相談支援センターの情報共有用のメーリングリ
スト（Kyoten-CISC）の登録・更新（スタッフ異
動時の変更）
 4. 災害時を想定した情報収集・共有のシミュレーショ
ンへのご協力
- 具体的に決まり次第アナウンスさせていただきます。

本日の報告内容

1. 「がん相談支援センターの相談対応体制と情報提供環境に関するアンケート」の中間報告ならびにそれに基づく今後の情報提供・相談支援部会の活動について

1) アンケート結果中間報告

(第3期がん対策推進基本計画について／情報提供環境について)

2) 今後の取りまとめ方法 (部会WGの設置と親会への提案)

2. がん相談支援センターの災害対策について

これまでの大規模災害におけるがん相談支援センターに関する情報収集と提供について

3. がん対策情報センターからのお知らせ等

1) 地域相談支援フォーラム開催報告・開催予定・企画募集と今後の方向性について

2) がん相談支援センターと地域の機関との連携について (図書館へのがん情報普及事業“がん情報ギフトプロジェクト”ほか)

地域がん相談支援フォーラム（H24～26年度の実績）

- H24年度より、**広域地域ベース**での**情報交換と好事例の共有**の場を用意し、**相乗的な効果**を生む活動支援を実施
- H26年度からは**企画公募**で募集し、国立がん研究センターが支援
- H28年度から、国立がん研究センターの直接的な支援のない、**地域主体開催型**（in沖縄）も開始。
- H29年度には**東北、首都圏、九州・沖縄の3ブロック**が**地域主体開催型**を予定

- ブロック内の相談支援センター**メンバーによる実行委員会**構成
- ブロック内**県担当者**の参加
- **県内および他県の好事例共有**
- 県をミックスした**グループワーク**
- 一般向け公開セミナーを同時開催

- **ネットワーク構築**（相談支援センター間、行政-拠点病院間、拠点病院－医療福祉施設間、県境を越えた広域）
- **好・先進事例の共有、相談支援センターの周知**
- **活動の活性化・均てん化、質向上の取組促進**



H28年度 東北



H26年度 三重



H27年度 鹿児島



地域相談支援フォーラム/ワークショップの開催状況 H24(2012) 年度～

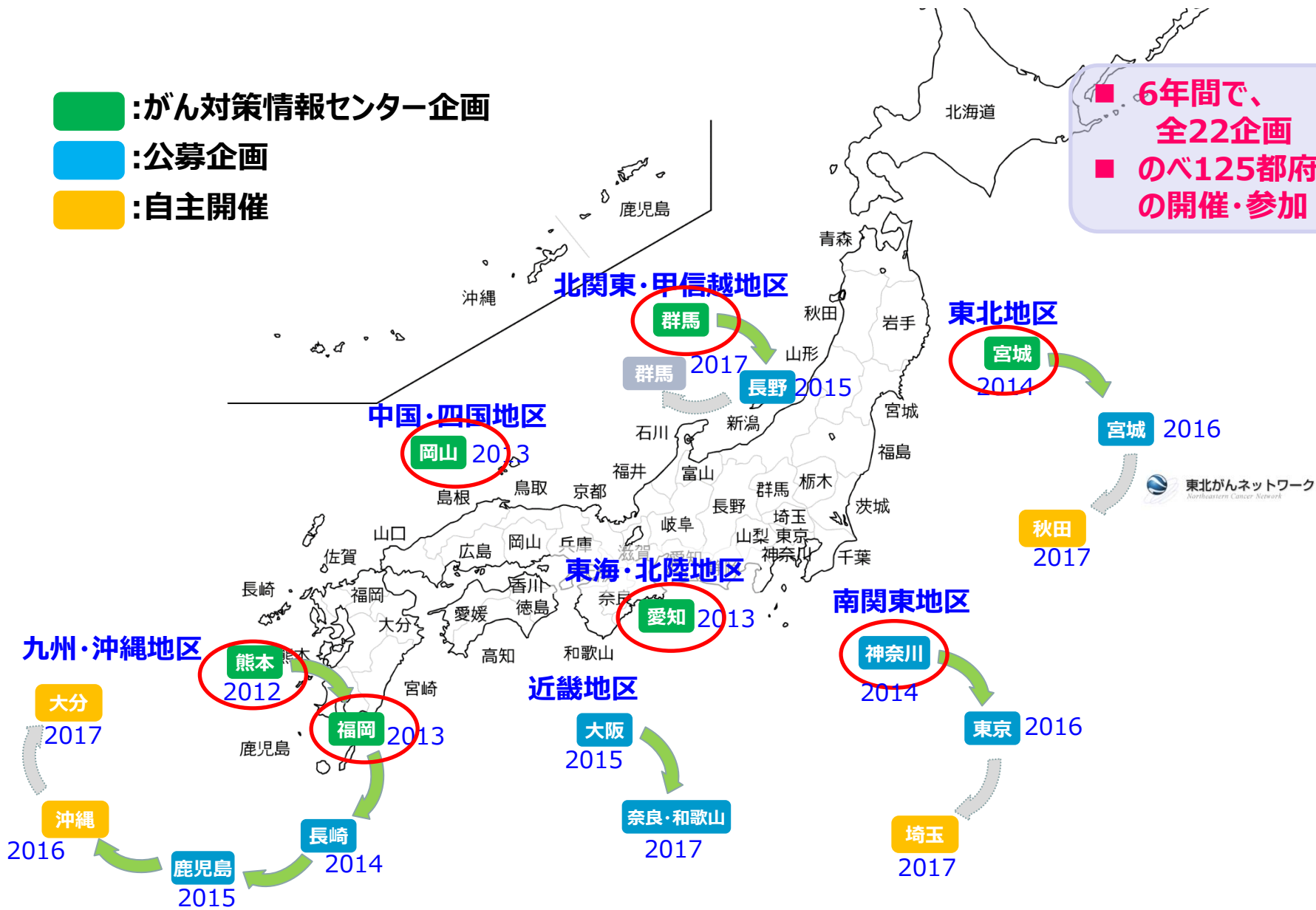
初期の普及協力企業の助成により実施した企画（○の開催分）

■ :がん対策情報センター企画

■ :公募企画

■ :自主開催

■ 6年間で、
全22企画
のべ125都府県
の開催・参加



平成29年度地域相談支援フォーラム開催予定

◆H29年度 企画公募型

●地域相談支援フォーラム in 北関東甲信越（群馬県）

- どうしてですか？患者が自分の最期を考えるととき～事前意思指示書と共に考える～

●地域相談支援フォーラム相談員研修 in 近畿（奈良・和歌山県）

- より良い相談支援のための院内連携と協働

◆H29年度 地域主体開催型

●地域相談支援フォーラム in 秋田

- 共に支えよう～そこに暮らすがん患者さんをご家族を～

●地域相談支援フォーラム in 埼玉・千葉・神奈川・東京

- 私たちの心を笑顔にリフレッシュ！～相談員のセルフケアを考える～

●九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム in 大分

地域相談支援フォーラム 平成30年度企画募集

国立がん研究センター
がん情報サービス ganjoho.jp 医療関係者向けサイト

診療支援

研修・セミナー

多地点テレビカンファ

がん相談支援

予防・検診

[HOME](#) > [がん相談支援](#) > [地域相談支援フォーラム](#) > [平成30年度](#) > [地域相談支援フォーラム共催団体募集について](#)

平成30年度

地域相談支援フォーラム共催団体募集について

更新日: 2017年06月09日 [[更新履歴](#)]

[【共催団体募集】](#) [【応募の条件】](#) [【参考情報】](#)

【共催団体募集】

国立がん研究センターがん対策情報センターでは、既に各都道府県において周知されている新たな整備指針(平成26年1月10日付け健発0110第7号)の通知内容を踏まえ、より地域のニーズに合致し、また系統的・継続的な研修の実施やより効果的な広報・周知活動を支援するため、「地域相談支援フォーラム」を公募します。

平成30年度枠では最大3件を採択予定です。うち1件については「がん相談支援センターとして信頼できる情報を見極める力を養うとともに、正しく情報を活用し、利用者に応じて伝えるための工夫」をテーマとした企画を優先的に採択する予定です。

【応募の条件】

- ・「都道府県がん診療連携協議会」あるいはその傘下の「相談支援専門部会」(あるいはこれに該当する担当者連絡会議等)を応募主体とし、部会長名義で応募すること。
- ・プログラムの開催時期: 2018年4月～2019年2月
- ・企画の選考にあたっては書類審査の上、最大4企画案につきヒアリングを行う。
- ・対象者: 県境を越えたネットワーク構築もひとつの狙いであるため、開催県以外に隣接3都道府

企画の実施時期:

2018年4月1日～

2019年2月28日

応募期限:

2017年8月31日(木)正午
(必着)

選考ヒアリング:

2017年9月15日(金)予定

採否の連絡(予定):

2017年9月末日ごろ

平成31年度以降: 地域主体開催型の側面支援への全面移行を予定

“がん相談の空白をなくしたい”

地域の中で、身近にがんの情報を届けるには

- 信頼できるがん情報の普及の必要性は指摘されているが、情報を入力できない人はまだ多数存在する
- がん患者の高齢化、家族の高齢化も進む中で地域にある身近な場で、病気になってから初めて訪れる医療機関ではなく、生活の場の中で届けていくことが、「がんになっても安心」の社会づくりに不可欠
- 図書館・公民館など、地域の公共施設の場の活用は有用

- 図書館 全国に3,308館（町立561館、村立51館）
- 公民館 全国に14,171館（町立3,491館、村立573館）
 - 図書室を設置している公民館は
 - 市・区…4227館
 - 町 …1010館
 - 村 …145館

いわゆる“がん相談の空白圏”でも活用できるルートの足がかりとして

- すでに分かりやすく“がんの情報”が設置されている図書館
- がん相談支援センターと連携が始まっている地域もあります



大阪府堺市立西図書館



福岡県飯塚市立図書館



和歌山県立図書館



【飯塚市立図書館まつり (2016年10月29日)】
福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門
部会 相談支援ワーキンググループ 筑豊ブロック

大分県立図書館エントランスホールにて
【がん相談ブース出展
大分県看護協会「一日まちの保健室」
と共催 (2016年5月22日)】
大分県がん診療連携協議会 相談支援
部会



大分県立図書館
エントランスホール

2017年7月31日スタート予定

届けるを贈る 届けるを支える 『がん情報ギフト』プロジェクトをはじめます。



集まった30,000円毎に
ご指定の都道府県の図書館1館に
「がん情報ギフトセット」を寄贈します。

.....840,000円で 宮崎県全ての公立図書館・・・
..1,620,000円で 群馬県全ての公立図書館・・・
..4,320,000円で 北海道全ての公立図書館に
行きわたります。



国立がん研究センターは、皆さまからのご寄付で
全国の図書館に信頼できるがんの冊子をお届け
するキャンペーンを行っています。
本キャンペーンにぜひご協力ください。

国立がん研究センター
がん情報サービス

